

女性らしく明るく元気に、秋闘へGO！！

10月9日～10日 全医労第52回女性集会 128人が参加。

今年の女性集会は、香川県琴平温泉「琴参閣」にて開催し、全国から128人が参加しました。



一日目は、講演・基調報告・特別報告2題に続いて全体討論をしました。

講演では、四国88ヶ所の一つで51番札所である石手寺の加藤住職から「お遍路の歴史と今、大切なこと」と題してお話をいただきました。戦地から戻った兵士の話は衝撃的でした。敵国の人も自分と同じ人間・人の痛みを知ると戦争はできない。集団的自衛権の問題や平和の問題についても熱く語られ、自らも行動派の僧侶として9条を守る行動に参加するという加藤住職。お遍路の経験から「当たり前と思っていた事が当たり前じゃないことが分かった」「自分の苦しみは小さい」「お接待していただく地元の方の声掛けで励まされ立ち直れる」など、日々忙しい日常の中で立ち止まって思ひめぐらしたい言葉がちりばめられた講演でした。加藤住職からは参加者全員に「人の痛みを知る」「皆一緒」「再生」

など自筆のお札をいただきました。



3人夜勤体制に向けて

特別報告では、2題の報告をいただきました。

高知支部の山本さんより「夜勤体制を3人に」と要求を掲げて執行委員会を開いたら多くの人に参加し、要求の切実さがわかった。3人体制実現に向けて引き続き頑張ると決意を込めて報告していただきました。



中高年の夜勤軽減の取り組み・協約締結後が大事

嬉野支部の福田さんより、熊本南支部・嬉野支部はじめ九州地方協の「中高年の夜勤軽減」の取り組みを報告していただきました。福田さんは、夜勤軽減の協約を結んだあとが重要、「夜勤を減らして」と言える人から言って、みんなが言える雰囲気を作ることが重要と力を込めて報告されました。



院内保育所をなくさないで・・・集会で400筆の署名集める

三重地区の参加者から、榊原しらゆり保育所（三重地区）が来年3月末で閉園になるとの通告を受け、保護者が立ち上がり保育所存続の署名活動に取り組んでいるとの報告と署名への協力を訴えました。集会参加者は訴えに賛同し、その場で署名して400筆余りを支部に届けました。



退勤時間調査を実施しました



全体討論では5支部の方から発言がありました。

横浜支部は2ヵ月に一回の退勤調査を実施しており、今年採用の新人も8月には「組合のおかげで超勤を書かせてもらっています」と見える活動の成果を報告しました。

指宿支部（鹿児島地区）は、退勤時間調査では「自分の仕事」と業務をしている人が多い。退勤調査は職場のこゝろを知る手段の一つ。施設にプレッシャーをかける手段にもなる。支部は、10月中には要求書を提出し交渉に持ち込む、と決意を語りました。

国府台支部（千葉地区）は、9月に退勤時間調査をした。自分の仕事を超勤とっていない。80%の人がサービス残業をしていることがわかったと実態を報告しました。

豊橋支部（愛知地区）は、組合の活動を知ってもらいたいと毎月1回の退勤時間調査を始めて一年になる。一年もやっていると顔見知りができる。何度も声をかけているうちに「組合に入って」と声掛けすると加入してもらえる。職場の愚痴も聞ける。退勤時間調査は組合の活動を知ってもらうのに効果的な活動と報告しました。

七尾支部（石川地区）はこれまで、超過勤務はないからと思ひ込み、退勤調査はしていなかったが、退勤調査をしてみて超勤があったことにびっくり。また申請されていない超勤があることが分かった。「自分の仕事」と業務をしている人が多いことも分かり、参加者から「これ団交になりますね」と交渉申し入れもすることになった。退勤時間調査は面白い。またやりたいと報告しました。



2日目は、要求を集めて団体交渉、交渉後の点検活動について8の分散会に別れて話し合いました。「組合は自分のことを守ってくれると聞いたが、こんな風にして一人の要求を改善するために動いているのがわかった」との感想がありました。・・・・・・**分散会の報告は、次号で詳しく報告します。**



御本宮まで785段



奥社まで1368段

10月10日の朝、金毘羅さんの1368段の階段に挑戦した人は何人もいたようです。私も、明るくなるのを待って挑戦しました。

奥社までは1時間近くかかり結構汗だくでした。途中、国府台のIさんとすれ違いましたが、涼しい顔で折り返していかれました。(T. N記)